

# 2023年度 事業報告書

---

学校法人 敬道学園

# I. 法人の概要

## 学校法人敬道学園

代表者 : 理事長 牧野 健介  
所在地 : 愛知県名古屋市中村区黄金通1-16  
設立 : 1967年4月1日

### 1. 沿革 (2023年3月31日現在)

- 1967年** 日本デザイナー学院・日本写真専門学院名古屋校創立  
学院長に山名文夫就任
- 1979年** 専門学校設置認可に伴い、日本デザイナー学院名古屋校写真科に改称  
校長に狭間寿郎就任
- 1981年** 校長に横田真利就任
- 1984年** 校長に岡本滋夫就任
- 1987年** 名古屋校創立20周年記念「高校生デザイン・写真コンペティション」
- 1990年** パリ海外研修旅行始まる
- 1991年** 名古屋市中村区黄金通に新校舎完成移転  
校長に中井幸一就任
- 1995年** マルチメディアデザインコース（現デジタルデザインコース）設置
- 1997年** 名古屋校創立30周年を迎えOB30展開催 マンガコース設置
- 1998年** 日本デザイナー芸術学院に校名変更  
コミュニケーションアート学科設置  
校長に竹内克郎就任
- 1999年** 写真科OB35展開催
- 2000年** OB展2000「DIGITALWORLD」開催
- 2002年** 創立35周年記念イベント開催  
中国国立四川大学芸術学部と姉妹提携
- 2003年** 世界グラフィックデザイン会議に出展
- 2007年** 校長に田辺雅一就任  
創立40周年記念「OB40展」開催
- 2010年** 日本マンガ芸術学院開校  
（マンガ分野と声優タレント分野に特化した日本デザイナー芸術学院の  
グループ校として創設）  
校長に成光雄就任
- 2011年** 日本デザイナー芸術学院校長に本山星求就任
- 2014年** 日本デザイナー芸術学院校長に成光雄就任
- 2015年** 学校法人名を敬道学園と改称
- 2018年** 日本デザイナー芸術学院、日本マンガ芸術学院に3年制コースを新設
- 2020年** 日本デザイナー芸術学院にこども芸術学科設置

## 2. 設置学校・学科・コース

専門学校日本デザイナー芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

ビジュアルデザイン学科 募集定員（120名） 文化教養分野

グラフィックデザインコース	2年/3年
キャラクターデザインコース	2年/3年
イラストデザインコース	3年
アートデザインコース	3年
映像デザインコース	3年

こども芸術学科 募集定員（20名） 教育社会福祉分野

保育士コース	3年
--------	----

専門学校日本マンガ芸術学院 専門課程昼間部 修業年限2年/3年

【設置学科・コース】

メディアアート学科 募集定員（110名）

マンガコース	2年/3年
コミックイラストコース	2年
小説クリエイトコース	2年
声優タレントコース	2年/3年

## 2. 設置学校の在籍学生数の状況

各設置学校の2023年5月1日現在の学生数

学校名	新入生	進級生	合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	88	187	<b>275</b>
専門学校日本マンガ芸術学院	65	70	<b>135</b>

### 3. 教職員・役員の状況

教職員 80名

役員	理事	牧野 健介	学校法人敬道学園	(常勤・理事長)
		成 光雄	学校法人敬道学園	(常勤・校長)
		宮武 一行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理)
		田中 智	株式会社日本教育工房	(非常勤・外部理)
		杉本 良行	学校法人恭敬学園	(非常勤・外部理)

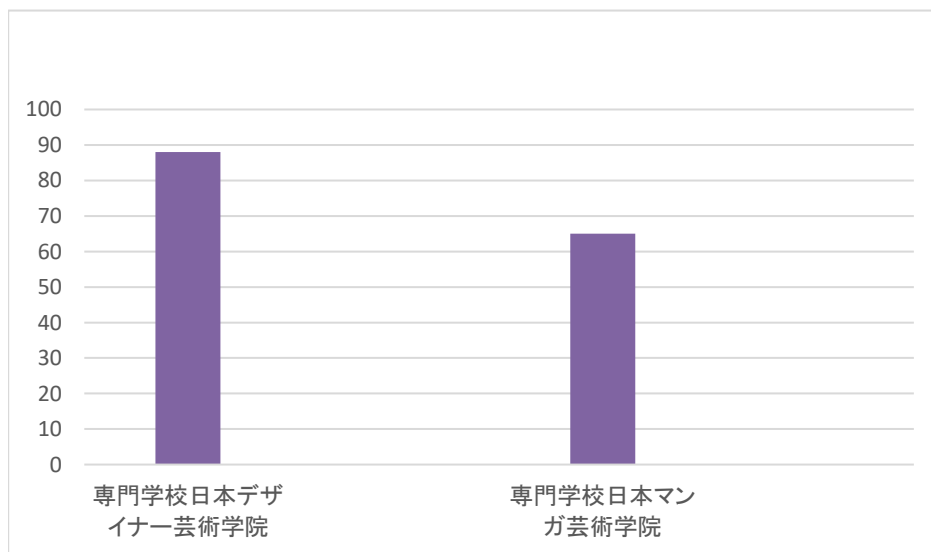
監事	鈴木 康弘	株式会社日本教育工房取締役
	大川 高志	株式会社ラバーセンス代表取締役

## II. 当該年度事業の概要

### 1. 募集活動について

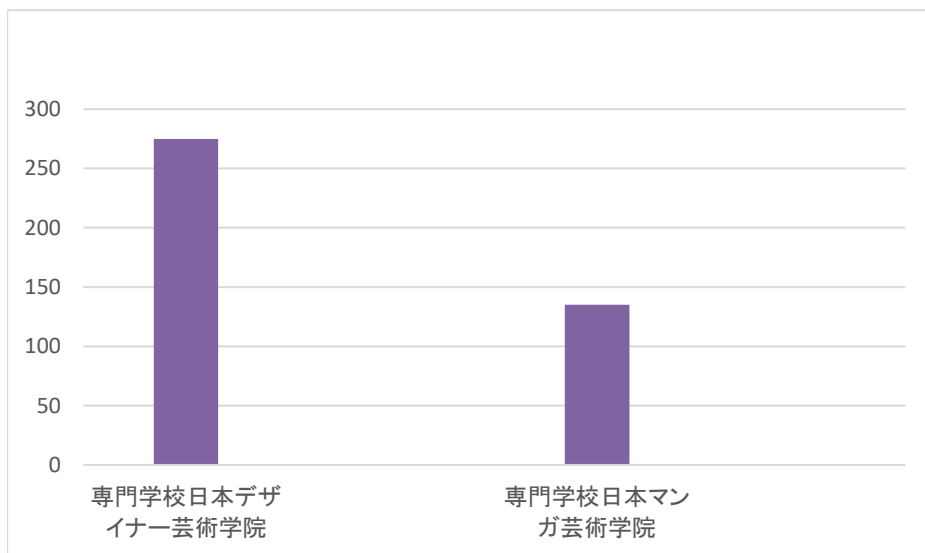
2023年4月入学者は、合計153名  
(専門学校 日本デザイナー芸術学院：88名 専門学校 日本マンガ芸術学院：65名)

敬道学園・新入学者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	88	153
専門学校日本マンガ芸術学院	65	



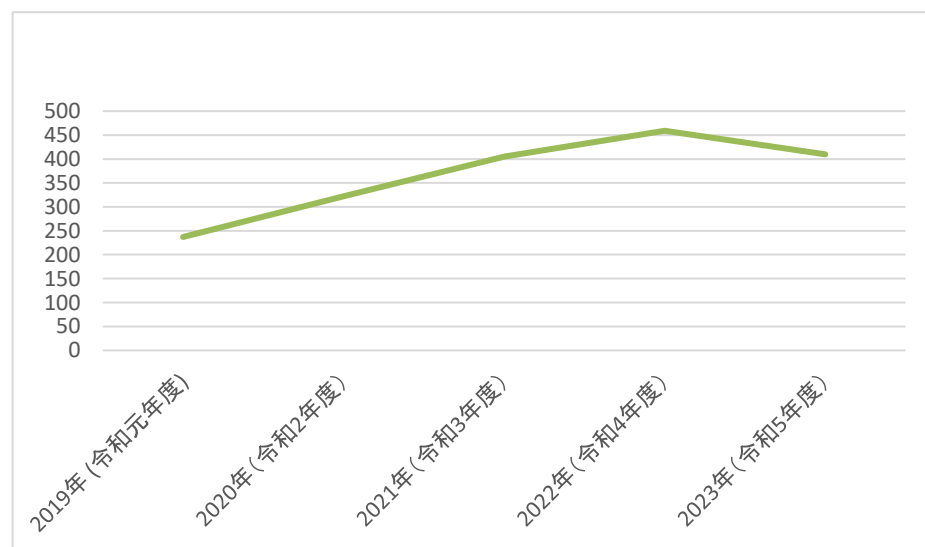
2023年4月在籍者数は、合計459名  
 (専門学校 日本デザイナー芸術学院：190名 専門学校 日本マンガ芸術学院：132名)

敬道学園・在籍者数		合計
専門学校日本デザイナー芸術学院	275	<b>410</b>
専門学校日本マンガ芸術学院	135	



敬道学園 学生数推移 (2019年～2023年)

敬道学園・学生数推移 (2019～2023)	
2019年 (令和元年度)	237
2020年 (令和2年度)	322
2021年 (令和3年度)	405
2022年 (令和4年度)	459
2023年 (令和5年度)	410



## 2. 就職活動について

当学院では、業界への就職やデビューを実現させるためのプログラムとして「キャリアデザイン」による就職対策、「デビュー支援プロジェクト」を要とした業界へのアプローチを1年次から実施している。

定期的な学生支援の継続で学生の意識向上や積極的な業界へのアプローチを可能とし近年では、業界では難関と言われる企業への就職や在学中からの作家デビューなど実績を重ね、卒業後のキャリア支援も含めた好調な進路決定率を維持している。

2023年度3月卒業生の就職実績（進路決定率）としては、日本デザイナー芸術学院として89.2% 日本マンガ芸術学院として89.5%の実績となる。※1

2023年度は、採用を控えていた企業からの求人も活発化し昨年度と比較しても学生の就職活動状況は比較的好調に推移していた感がある。

前年度から定番化したリモートでの企業説明会やWeb面接での対応力を高める学生指導と合わせ、オープンチャットを活用したリアルタイムでの求人情報の配信、「就職対策授業」の強化と進路相談、面接対策等の個別対応を積極的に実施した。

時代に合わせたキャリア支援の必要性と従来の指導（エントリーシート・履歴書ポートフォリオ）を継続的に行い、次年度以降も学生たちが望む多種多様な進路決定を実現するために学生サポートを継続していく。

※1（専門学校日本マンガ芸術学院は、各コースの特性上、漫画家アシスタント、養成所進学等も数値に含む）

## 3. 進級率・退学者について

当学院では、進級率の向上、退学者の減少の為の施策としてカウンセリングシートを活用した退学要因の把握と個人面談の複数回実施による学校生活サポートを重点項目として取り入れている。

経済的問題での退学者が多い状況の中で、学習意欲の減退や人間関係でのつまづきが最小限にとどまるよう、個々の学生とのコミュニケーションを緊密にとり、生活面及び学習環境の改善に努めている。

近年の傾向としては、精神的な問題で休学や退学に至るケースが増えており家庭との連携が必要な事案も増加傾向にある。

2023年度の進級率としては、学園全体で89.0%である。

## 4. 当該年度の取り組み

2023年度に関しては、ほぼコロナ渦以前の教育環境に戻ることができ、積極的なイベント参加や外部企業との連携、産学協同プロジェクト等の取り組みを活発化した。各コースにおいては、コンペティションでの入賞実績や商業誌への掲載実績等も向上し独自性を高めた教育カリキュラムが成果に結びつく状況となった。

今後も学生満足度の向上をさらに高め、進級率の向上、退学者の減少を実現するよう設置コースにおいて一人ひとりに対応するきめの細かい指導を徹底していく。

### Ⅲ. 財務の概要及び決算報告

#### 【貸借対照表】

##### 資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
(固定資産)	1,408,268,452	1,405,968,853	2,299,599
【有形固定資産】	1,406,199,710	1,403,064,111	3,135,599
【その他の固定資産】	2,068,742	2,904,742	△ 836,000
(流動資産)	635,614,771	410,194,184	225,420,587
〔資産の部合計〕	2,043,883,223	1,816,163,037	227,720,186

##### 負債・純資産の部

(単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部	543,177,098	355,627,775	187,549,323
(固定負債)	160,442,800	15,013,400	145,429,400
(流動負債)	382,734,298	340,614,375	42,119,923
純資産の部	1,500,706,125	1,460,535,262	40,170,863
基本金	2,340,994,566	2,312,797,001	28,197,565
繰越収支差額	△ 840,288,441	△ 852,261,739	11,973,298
〔負債及び純資産の部合計〕	2,043,883,223	1,816,163,037	227,720,186

#### 【資金収支計算書】

##### 収入の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
【学生生徒等納付金収入】	366,613,100	368,121,300	△ 1,508,200
【手数料収入】	5,300,000	6,082,000	△ 782,000
【補助金収入】	37,000,000	38,026,700	△ 1,026,700
【資産売却収入】			0
【事業収入】	1,000,000	1,250,000	△ 250,000
【受取利息・配当金収入】	34,000,000	34,639,000	△ 639,000
【雑収入】	50	87	△ 37
【借入金等収入】	2,454,000	2,455,540	△ 1,540
【前受金収入】	200,000,000	200,000,000	0
【その他の収入】	245,000,000	248,581,550	△ 3,581,550
【資金収入調整勘定】	97,300,000	100,844,553	△ 3,544,553
〔前年度繰越支払資金〕	△ 246,559,350	△ 225,324,000	△ 21,235,350
〔収入の部合計〕	394,353,811	403,118,960	—
	1,136,461,611	1,177,795,690	△ 41,334,079

## 支出の部

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
【人件費支出】	144,000,000	143,025,632	974,368
【教育研究経費支出】	78,790,000	77,379,858	1,410,142
【管理経費支出】	161,650,000	160,297,485	1,352,515
【借入金等利息支出】	700,000	627,193	72,807
【借入金等返済支出】	58,560	58,560	0
【施設関係支出】	28,000,000	27,897,529	102,471
【設備関係支出】	2,300,000	2,116,266	183,734
【その他の支出】	135,050,384	133,560,043	1,490,341
【資金支出調整勘定】	△ 42,915,063	△ 42,745,532	△ 169,531
〔翌年度繰越支払資金〕	620,000,000	631,527,216	△ 11,527,216
〔支出の部合計〕	1,171,685,321	1,177,795,690	△ 6,110,369

## 【事業活動収支計算書】

(単位：円)

科目	予算	決算	差異
【学生生徒等納付金】	366,613,100	368,121,300	△ 1,508,200
【手数料】	5,300,000	6,082,000	△ 782,000
【経常費等補助金】	37,000,000	38,026,700	△ 1,026,700
【事業収入】	34,000,000	34,639,000	△ 639,000
【雑収入】	2,454,000	2,455,540	△ 1,540
〔教育活動収入計〕	445,367,100	449,324,540	△ 3,957,440
【人件費】	146,500,000	144,385,032	2,114,968
【教育研究経費】	103,790,000	102,174,367	1,615,633
【管理経費】	163,550,000	162,173,641	1,376,359
〔教育活動支出計〕	413,840,000	408,733,040	5,106,960
教育活動収支差額	30,827,150	39,964,394	△ 9,137,244
【受取利息・配当金】	50	87	△ 37
〔教育活動外収入計〕	50	87	△ 37
【借入金等利息】	700,000	627,193	72,807
〔教育活動外支出計〕	700,000	627,193	72,807
教育活動外収支差額	△ 699,950	△ 627,106	△ 72,844
〔経常収支差額〕	30,827,150	39,964,394	△ 9,137,244
【資産売却差額】	0	206,469	△ 206,469
〔特別収入計〕	0	206,469	△ 206,469
【資産処分差額】	0	0	0
〔特別支出計〕	0	0	0
特別収支差額	0	206,469	△ 206,469
〔基本金組入前当年度収支差額〕	30,827,150	40,170,863	△ 9,343,713
〔基本金組入額合計〕	△ 28,400,000	△ 28,197,565	△ 202,435



〔当年度収支差額〕	2,427,150	11,973,298	△ 9,546,148
前年度繰越収支差額	△ 852,261,739	△ 852,261,739	—
〔翌年度繰越収支差額〕	△ 849,834,589	△ 840,288,441	△ 9,546,148
(参考)			
事業活動収入計	445,367,150	449,531,096	△ 4,163,946
事業活動支出計	414,540,000	409,360,233	5,179,767